

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公表番号】特表2003-534250(P2003-534250A)  
 【公表日】平成15年11月18日(2003.11.18)  
 【出願番号】特願2001-577979(P2001-577979)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 39/39 (2006.01)  
 A 6 1 K 39/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 48/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 37/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/39  
 A 6 1 K 39/00 H  
 A 6 1 K 48/00  
 A 6 1 P 37/04  
 A 6 1 P 43/00 1 0 5  
 A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月9日(2008.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 抗原提示細胞ケモタキシン(A P C - ケモタキシン)および\_\_抗原\_\_  
 (ここに該A P C - ケモタキシンは；  
 (a) ネズミサイトメガロウイルスケモカイン-2(v M C K - 2)およびm C 1 0から  
 選ばれるケモカインポリペプチド；

(b) 該ポリペプチドの化学走性特性を変化させない(a)の変異体；または

(c) (a)または(b)をコードするポリヌクレオチドである)

の、医薬物の製造における使用。

【請求項2】 該医薬物がさらにさらなるケモカインを含む請求項1に記載の使用。

【請求項3】 該医薬物がv M C K - 2およびm C 1 0の両方を含む請求項1に記載  
 の使用。

【請求項4】 A P C - ケモタキシンがv M C K - 2またはm C 1 0および別の天然  
 のケモカインをコードするポリヌクレオチドのi n v i t r o組換えにより生成され  
 るポリヌクレオチドによりコードされる、請求項1に記載の使用。

【請求項5】 該抗原が微生物病原体由来であるか、または腫瘍関連抗原である、請  
 求項1に記載の使用。

【請求項6】 該微生物病原体が細菌またはウイルスである、請求項5記載の使用。

【請求項7】 A P C - ケモタキシンがv M C K - 2である、請求項1に記載の使用

。

【請求項8】 A P C - ケモタキシンがm C 1 0である、請求項1に記載の使用\_\_。

【請求項9】 A P C - ケモタキシンがv M C K - 2をコードするポリヌクレオチド

である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 1 0】 A P C - ケモタキシンが m C 1 0 をコードするポリヌクレオチドである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 1 1】 実質的に精製されたケモカインポリペプチドおよび、抗原性ポリペプチドを含むワクチン組成物であって、該ケモカインポリペプチドが、ネズミサイトメガロウイルスケモカイン - 2 ( v M C K - 2 ) もしくは該ポリペプチドの化学走性特性を変化させないその変異体、または m C 1 0 もしくは該ポリペプチドの化学走性特性を変化させないその変異体であるワクチン組成物。

【請求項 1 2】 ケモカインポリペプチドが v M C K - 2 である、請求項 1 1 に記載のワクチン組成物。

【請求項 1 3】 ケモカインポリペプチドが m C 1 0 である、請求項 1 1 に記載のワクチン組成物。

【請求項 1 4】 実質的に精製された抗原提示細胞ケモタキシン ( A P C - ケモタキシン )、および抗原を含む組成物であって、該 A P C - ケモタキシンが、  
( a ) ネズミサイトメガロウイルスケモカイン - 2 ( v M C K - 2 ) および m C 1 0 からなる群から選ばれるケモカインポリペプチド；  
( b ) 該ポリペプチドの化学走性特性を変化させない ( a ) の変異体；または  
( c ) ( a ) または ( b ) をコードするポリヌクレオチドである、組成物。

【請求項 1 5】 さらに医薬的に許容される賦形剤または常套的アジュバントを含む、請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 1 6】 さらにさらなるケモカインを含む、請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 1 7】 v M C K - 2 および m C 1 0 の両方を含む請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 1 8】 該抗原が微生物病原体由来であるか、または腫瘍関連抗原である、請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 1 9】 該微生物病原体が細菌またはウイルスである、請求項 1 8 に記載の組成物。

【請求項 2 0】 A P C - ケモタキシンが v M C K - 2 である、請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 2 1】 A P C - ケモタキシンが m C 1 0 である、請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 2 2】 A P C - ケモタキシンが v M C K - 2 をコードするポリヌクレオチドである、請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 2 3】 A P C - ケモタキシンが m C 1 0 をコードするポリヌクレオチドである、請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 2 4】 被検体において特定の抗原に対する免疫応答を誘発可能な組成物を製剤化する方法であって、抗原提示細胞ケモタキシン ( A P C - ケモタキシン )、特定の抗原、および製薬的に許容される賦形剤、または慣用のアジュバントを組み合わせることを含む、該 A P C - ケモタキシンが、  
( a ) ネズミサイトメガロウイルスケモカイン - 2 ( v M C K - 2 ) および m C 1 0 から選ばれるケモカインポリペプチド；  
( b ) 該ポリペプチドの化学走性特性を変化させない ( a ) の変異体；または  
( c ) ( a ) または ( b ) をコードするポリヌクレオチド  
である方法。

【請求項 2 5】 該抗原が微生物病原体由来であるか、または腫瘍関連抗原である、請求項 2 4 に記載の方法。

【請求項 2 6】 該微生物病原体が細菌またはウイルスである、請求項 2 5 に記載の方法。

【請求項 2 7】 A P C - ケモタキシンが v M C K - 2 である、請求項 2 4 に記載の方法。

【請求項 28】 A P C - ケモタキシンが m C 1 0 である、請求項 2 4 に記載の方法

。

【請求項 29】 A P C - ケモタキシンが v M C K - 2 をコードするポリヌクレオチドである、請求項 2 4 に記載の方法。

【請求項 30】 A P C - ケモタキシンが m C 1 0 をコードするポリヌクレオチドである、請求項 2 4 に記載の方法。